

自ら人生を切り拓き、多様な他者と協働して よりよい未来の創り手となる力を育む



「第三期武蔵野市学校教育計画」の理念であるとともに、これからの武蔵野市の学校教育に求められる資質・能力の方向を示したものです。

この理念を実現するための主要な柱の一つに、子どもたちに生涯を通じた学び、生きる力を支える「自信と意欲」を育むことがあります。不易と流行で言えば、不易の価値です。学力が高く、家庭の教育力も安定している武蔵野市の子どもたちにだからこそ、主体的な学び手への動機付けが特に重要と考えています。

武蔵野市の学校では、先生方に新しいことへのチャレンジを恐れずに取り組んでほしいと考えています。同時に不易なこと、大切なことを深め、追究してほしいことを切に願っています。そのために、武蔵野市教育委員会として、教師としての技量、教科等の専門性を高める研究や研修の機会と、環境の整備に最大限の力を尽くしています。

武蔵野市教育委員会

武蔵野市はこんなまち!!

- ◎吉祥寺に代表される住みたいまち NO.1
- ◎コンパクトな市域にある、高い商業集積と中央線3駅（吉祥寺、三鷹、武蔵境）を軸にした交通の利便性の良さ、生活しやすい住宅地
- ◎学校や家庭を支える地域（コミュニティ）の力
- ◎高い財政力（財政力指数東京都内第1位）
- ◎学校教育と緊密な連携、充実した生涯学習
（武蔵野プレイス、土曜学校、武蔵野地域5大学との連携）



武蔵野市の教育

武蔵野市は

リーダーシップを発揮しようとする

主任教諭（小・中）

特別支援教育に精通している

特別支援学級・特別支援教室(巡回)

の先生方（予定）をお待ちしております！

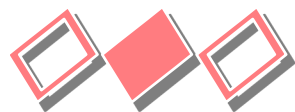
2の小学校 6の中学校



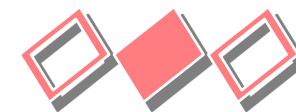
共に武蔵野市の教育をつかっていきませんか？

【問い合わせ先】

武蔵野市教育委員会指導課教職員担当 0422-60-1896



武蔵野が進める特色ある教育



① 働き方改革の推進

先生方の健康保持・増進、校務改善、子どもと向き合う時間を確保するため、先生いきいきプロジェクト2.0を推進しています。

～プロジェクトの内容例～

○単独（またはT1）で授業を行う市講師を独自採用し、教員の持ち時数の軽減を進めています。（小学校低学年の学級担任：週22時間、中学年：週21時間、高学年担任：週20時間を目標）

○部活動指導員の任用（中学校全校1名）

○タイムレコーダーの設置

○電話応答メッセージ対応の導入

○学校閉庁日の拡大

小学校 18:30～7:30 中学校 19:00～7:30

○副校長等事務補助職員（スクール・サポート・スタッフ）の配置

○先生方の主体的な研鑽を奨励する

ため、民間団体の研究発表会等の参加費を補助します。

教員アンケートで「在校時間が減り、ライフ・ワーク・バランスが推進された」という肯定的な回答が年々増えています！

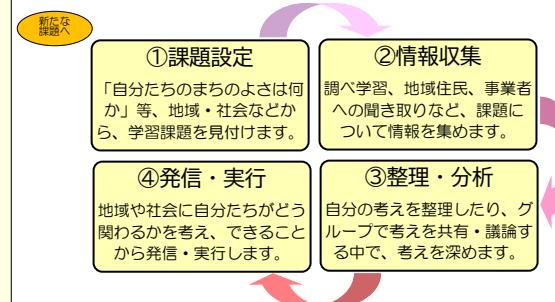


② 「武蔵野市民科」の実施

武蔵野市では、「自己を確立し、目標達成に向けて協力したり、進んで社会に関わろうとする」市民性を高める教育を進めています。

特に小学校第5学年から中学校第3学年まで、「武蔵野市民科」として、教科等横断的にカリキュラムを編成して取り組んでいます。

～武蔵野市民科の学習イメージ～



～実践例～

○まちを探索し、地域の方の話を伺う中で、おすすめの場所やよさ・魅力を発信するパンフレットを作成し、公園で配布する、地域施設に置いてもらうなどPR活動を行いました。（小学校）

○市長にお越しいただき、自分たちが考えた市の課題の解決策を提言しました。提言にあたっては、施政方針を読み込み、市役所職員にインタビューを行うなど、市の取組について考えを深めていきました。（中学校）

探究的な学びの中で、自立・協働・社会参画に関する資質・能力を育みます

③ 長期宿泊体験の充実・改善

長期宿泊体験活動（セカンドスクール）を通して、子どもたちの「自然を愛する心、課題解決能力、情報活用能力、人間関係形成、社会参画、自己実現」に関する資質・能力の育成に取り組んでいます。実施内容（泊数・実施地含む）は、学校が主体となり計画しています。

～宿泊日数（訪問先）～

○小学校第4学年 2泊3日（山梨県南都留郡、東京都奥多摩町 等）

○小学校第5学年 5泊6日等（新潟県南魚沼市、長野県飯山市 等）

○中学校第1学年 4泊5日（長野県北安曇郡、新潟県十日町市 等）



GOOD DESIGN AWARD
2015年度受賞

～具体的な活動の様子～

自然体験活動

よりよい人間関係を形成する活動

当該学年の特色を生かした活動



自然を感じる
森林トレッキング



鎌を使った稲刈り体験



祖のお父さん・お母さん
との交流会



祖の方と一緒に作る
ほうとう作り



理地中学校との交流
習字たちのまち紹介

④ 地域との協働・連携

地域の教育力の高さも特徴です。各学校に学校と地域をつなぐ地域コーディネーターの方がいらっしゃいます。また、各校「開かれた学校づくり協議会」を設置して、学校運営管理に関して、地域・保護者などから広く意見を求め地域社会に開かれた特色ある学校づくりを進めています。

～活動の内容例～

○琴や茶道、ピオトープの活用など、体験活動に地域の講師を招聘。

○オリンピック・パラリンピック教育で、地域在住の外国人の方を紹介。

○中学校の職場体験学習を依頼する店舗の紹介や拡大。

